



①	デザイン	種から発芽した新芽をコンセプトとした。「種」として選定した歯車は技術を表している。さらに、歯車は人や団体との関わりを表現するのにベストであると考えた。「種」から伸びる茎は矢印になっており、「産業界をリードする思いのある経営者」と「新しい価値の創造」を意味する。葉はメビウスの輪をモチーフに描くことで、「循環」を表現している。また、二色で描くことで企業や人物、モノなどの関わりを表現した。また、青を加えることで「FAIS」や「北九州市学術研究都市」と調和の取れたロゴにした。
	略称／愛称	「Kitakyushu Innovative Value creation Consortium」の頭文字から語感の良さを意識して「IVaC(アイバック)」としたが、アイバックはインターネットの検索で被るため@Kitakyushuを足した。また、@Kitakyushuを加えることで貴研究会が成功を収め革新的価値創造研究会が他の都市でも発足される期待もこめている。